

事業番号	15 05 02	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	キャリア教育推進事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
						課・室	教学指導課	
総合5か 年計画	プロジェクト	8-3-1教育再生プロジェクト 1-3-5次世代産業創出プロジェクト 5-2-2雇用・社会参加促進プロジェクト 7-1-4活動人口増加プロジェクト			E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			実施期間	H18 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、学校全体をキャリア教育の視点で見直す。 高校生の就業体験活動の推進と市町村プラットフォームの構築を推進する。 社会参画意識を高め、主権者として自立するための力を育成する。 		
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 若者の精神的・社会的な自立の遅れが指摘されている。 普通科における就業体験活動が不足している。地域、家庭の教育力を活用したキャリア教育を進めている。 学校から社会生活への円滑な移行が課題となっている。 		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施： 検討中	キャリア教育は、幼児期の教育や義務教育の段階から、体系的に各学校段階の取組を考えていくことが重要であり、県が一定方向を示して継続的に関わっていくことが必要である。	

成果目標・ 事業内容	① 成果目標 (H27)						
	<ul style="list-style-type: none"> 進路について正しい選択ができるよう、積極的に就業体験に参加させ、高校卒業までに体験活動を実施した全日制3年生の生徒数の割合をH29年度100%に向け、H27年度80.0%とする。 乳幼児触れ合い体験実施校数をH29年度50校に向け、H27年度35校に増やす。 「就きたい仕事がイメージできる」と答える高校1年生の割合を、H29年度70.0%に向け、H27年度66.5%を目標とする。 産業教育にかかわる全国大会派遣高校数を維持する。 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求)	H27 (予算案)
		キャリア教育支援事業	直接	・長野県キャリア教育支援センター事業(産学官が連携したキャリア教育の推進) ・学校・生徒支援事業(カリキュラム改革の推進、社会的自立支援事業の実施、高校生の就業体験)	7,424	12,913	11,626
		子育て理解教育	直接	・高校生の幼稚園・保育所での幼児触れ合い体験の実施 ・高校生の赤ちゃん触れ合い体験の実施	280	280	280
		未来をつくる協働事業	直接	・地域社会の課題解決に向け、地域の関係者等と連携した教科横断的なプログラムを開発し、全国に発信	1,025	1,178	1,178
		学校の実情に応じたキャリア教育体制整備事業	直接	・学校や生活に課題を抱えている生徒が多い高校に対し、関係団体との協働体制による新たな学校モデル構築し、その取組の普及		2,041	0
		高大接続によるキャリア教育体制整備事業	直接	・県内大学との連携により高校生が目的意識を持って進学先を選択するためのキャリア教育の推進(高大間教員のキャリア教育を取り入れた授業実践、高校生の大学授業体験等)		2,089	0
		SPH(スーパープロフェッショナルハイスクール)設置事業	直接	・産業教育に関する先進的な卓越した教育課程の開発・実践		20,201	20,201
	産業教育	交付金	・全国及び北信越ブロックレベルの教科学習にかかわる競技会に出場する県立高校生の交通費を補助	1,500	1,500	1,500	
			合計	10,229	40,202	34,785	

事業 コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越	0	0	0			項目	H26末 (見込)	H27			H28 目標
		当初予算	23,862	26,852	10,229	40,202	34,785			目標	成果	達成状況	
		補正予算	-3,033					在学中の就業体験活動参加率(全日制高校生)	70.0%	80.0%			
		合計(A)	20,829	26,852	10,229	40,202	34,785	乳幼児触れ合い体験実施高校数	30校	35校			
	Aの 財源	一般財源	11,152	8,777	9,204	9,486	8,617	「就きたい仕事がイメージできる」高校1年生の割合	65.0%	66.5%			
		県債						教科に係わる全国大会派遣高校数(専門高校)	19校	20校			
		国庫支出金	0	0	1,025	30,716	26,168						
		その他	9,677	18,075	0	0	0						
	決算額(B)	18,071	23,065										
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00							
概算人件費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516	16,516								
概算事業費(B(A)+C)	34,587	39,581	26,745	56,718	51,301								

指摘事項等への対応	(指摘事項等) 高校生の社会体験や就業体験への参加を促進するために高等学校に配置していたキャリア教育アドバイザーの配置に係る予算を確保するべき。	(対応) キャリア教育支援事業において、国庫支出金を活用したキャリア教育アドバイザーの配置について予算計上しました。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

要求からの主な変更点	(キャリア教育支援事業)学校・生徒支援事業について、内容見直しにより報償費、旅費を減額 (学校の実情に応じたキャリア教育体制整備事業、高大接続によるキャリア教育体制整備事業)国が予算の獲得をできなかったため減額
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------